

### 3 事業概要

#### 3.1 環境情報部環境活動推進課

##### 3.1.1 企画調整業務

調査研究の企画調整、研究成果の公表及び環境全般についての普及啓発に関する業務を行った。

#### (1) 調査研究業務の企画調整

平成 29 年度調査研究課題として設定したプロジェクト研究等の課題について、研究結果説明会を実施した。

また、令和元年度の調査研究課題について、調査研究計画説明会において内部評価を、また調査研究推進委員会による外部評価を行った。

事業名又は項目	概要
ア 調査研究課題の調整	R元年度の調査研究課題の設定を行った。
イ 内部評価	H29年度調査研究課題の研究結果説明会をH30. 5. 21 (月)を開催したが、内部評価対象はなかった。R元年度調査研究計画説明会をH31. 2. 4 (月)に開催し、評価を行った。
ウ 外部評価	R元年度調査研究課題について、学識経験者4名で構成する調査研究推進委員会(委員長 桜美林大学リベラルアーツ学群片谷教孝教授)をH31. 2. 22 (金)に開催し、計画外部評価を行った。 <評価対象> ①相模湾沿岸域におけるマイクロプラスチック汚染の実態解明(プロジェクト研究) ②神奈川県におけるPM2.5中のタンパク質の実態把握(プロジェクト研究) ③指標種に着目した環境DNAの基礎研究(地域課題研究)

#### (2) 研究成果の公表

調査研究成果を広く紹介するため、業績発表会及び環境研究合同発表会を開催するとともに、研究報告の発行、学会等への発表を行った。

※ゴシック表記の氏名は、公表当時当センター職員であることを示す。

事業名又は項目	概要
ア 環境研究合同発表会	当センターと横浜市環境科学研究所及び川崎市環境総合研究所で構成する「神奈川県市環境研究機関協議会」の主催により、環境月間中のH30. 6. 20 (水)に横浜市技能文化会館において、「第42回環境研究合同発表会」を開催した。参加者140人 <当センターの演題> ①相模湾沿岸に漂着するマイクロプラスチック(池貝隆宏【調査研究部】) ②山岳地の大気気象が及ぼすブナへの影響(武田麻由子【調査研究部】)
イ 業績発表会	H30. 10. 18 (木)にラスカ平塚ラスカホールにおいて、「環境科学センター業績発表会」を開催した。参加者98人 <演題> ①火山ガスの観測から箱根山の火山活動を予測できるか?(代田寧【調査研究部】) ②箱根山大涌谷から放出される火山ガスをはかる～サンプリングと迅速分析～(十河孝夫【温泉地学研究所】) ③神奈川県内の大気・水環境の状況について(坂本広美【環境情報部】) ④シミュレーションモデルを用いた微小粒子状物質(PM2.5)の解析について(小松宏昭【調査研究部】)

事業名又は項目	概 要
イ 業績発表会	<p>⑤県民参加調査による相模湾漂着マイクロプラスチックの実態（<b>難波あゆみ【調査研究部】</b>）</p> <p>⑥相模湾漂着マイクロプラスチックに吸着した有機フッ素化合物の検出状況（<b>三島聡子【調査研究部】</b>）</p>
ウ 農林水産系研究機関成果発表会	<p>H31. 2. 9(土)に波止場会館において、農業技術センター、水産技術センター、畜産技術センター及び自然環境保全センターの主催する「神奈川県農林水産系研究機関研究成果発表会」にて、ポスター展示を行った。</p> <p>＜当センターの研究展示内容＞</p> <p>①西丹沢の大気汚染-犬越路測定局における測定結果のまとめ-（<b>武田麻由子【調査研究部】</b>）</p> <p>②山岳地の大気気象が及ぼす丹沢のブナへの影響（<b>武田麻由子【調査研究部】</b>）</p>
エ 研究報告の発行	<p>「平成30年版（2018）神奈川県環境科学センター研究報告 第41号」をH31. 1に当センターwebサイトに掲載した。</p> <p>＜内容＞</p> <p>①相模湾沿岸域のマイクロプラスチック漂着特性（<b>池貝隆宏、三島聡子、菊池宏海、難波あゆみ【調査研究部】、小林幸文【環境科学センター】</b>）</p> <p>②新幹線鉄道騒音・振動に対するアノイアンスの複合効果（<b>横島潤紀【環境情報部】、森原崇【石川工業高等専門学校】、佐藤哲身【北海学園大学】、矢野隆【熊本大学】</b>）</p> <p>③マイクロプラスチックに吸着した有機フッ素化合物の分析（<b>三島聡子【調査研究部】</b>）</p> <p>④化学輸送モデルを用いたPM2.5 の発生源寄与解析（<b>小松宏昭【調査研究部】</b>）</p> <p>⑤底質中のネオニコチノイドの分析法（<b>中山駿一、三島聡子【調査研究部】</b>）</p> <p>⑥大気汚染常時監視測定局におけるメタンガス濃度の長期的な変化（<b>坂本広美【環境情報部】</b>）</p> <p>⑦相模湾における経年的な海水のpH の測定状況（<b>坂本広美【環境情報部】</b>）</p>
オ 学会等への発表	<p>調査研究成果について、論文等の発表（表3. 1. 1-1、表3. 1. 1-2）を行った。</p>
カ その他	<p>調査研究その他の業績により、職員が平成30年度中に受けた表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30. 10. 22(月)「全国環境研協議会関東甲信静支部支部長表彰」（<b>小松宏昭【調査研究部】</b>）</li> <li>・ H30. 11. 7(水)「神奈川県環境農政局長表彰」（<b>中村隆治【管理課】</b>）</li> <li>・ H30. 11. 7(水)「神奈川県環境農政局長表彰」（<b>環境科学センター施設公開チーム【環境情報部】</b>）</li> <li>・ H31. 1. 21(月)「全国環境研協議会会長賞」（<b>池貝隆宏【調査研究部】</b>）</li> <li>・ H31. 3. 13(水)「神奈川県環境農政局長表彰」（<b>リニア中央新幹線の騒音に対する環境基準の類型指定チーム【環境情報部】</b>）</li> <li>・ H31. 3. 13(水)「神奈川県環境農政局長表彰」（<b>マイクロプラスチック研究チーム【調査研究部】</b>）</li> </ul>

表 3.1.1-1 論文等発表 (\* : 査読付き)

著 者【所属】	題 目	学会誌等名称
池貝隆宏、小澤憲司、朝倉 純、三島聡子【調査研究部】	マイクロプラスチックに類似した海洋汚染特性を持つ物質の海岸漂着	全国環境研会誌、43(4)、60-64 (2018)
池貝隆宏【調査研究部】	海洋マイクロプラスチックはどこから来るのか？	かながわ環境技術会誌、18、10-15 (2018)
横島潤紀【環境情報部】	振動測定マニュアルの概要	騒音制御、42(3)、105-108 (2018)
横島潤紀【環境情報部】、富田隆太【日本大学】、小谷朋央貴【フジタ】、伊積康彦【鉄道総合技術研究所】*	建築物における環境振動に関する測定・分析・評価の課題と現状	日本建築学会技術報告集、24(57)、697-702 (2018)
村上泰浩【崇城大学】、矢野隆【熊本大】、森長誠【防衛施設協会】、横島潤紀【環境情報部】*	Effects of Railway Elevation, Operation of a New Station, and Earthquakes on Railway Noise Annoyance in Kumamoto, Japan	International Journal of Environmental Research and Public Health、15(7)、1417、(2018)
Thu Lan Nguyen【島根大学】、森原崇【石川高専】、矢野隆【熊本大学】、横島潤紀【環境情報部】*	Structural equation models of road traffic and aircraft noise annoyance in Vietnam	Noise Control Engineering Journal、66(6)、459-471 (2018)
Thao Linh Nguyen【Sound Traffic Environment Inc.】、Thu Lan Nguyen【島根大学】、森長誠【防衛施設協会】、横島潤紀【環境情報部】、矢野隆【熊本大学】、佐藤哲身【北海学園大学】、山田 一郎【空港振興・環境整備支援機構】*	Community response to a step change in the aircraft noise exposure around Hanoi Noi Bai International Airport	The Journal of the Acoustical Society of America、143(5)、2901-2912 (2018)

表 3.1.1-2 口頭発表 (\* : ポスター発表)

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
三島聡子【調査研究部】	マイクロプラスチックに吸着した有機フッ素化合物の分析法の検討	第 27 回環境化学討論会 H30.5 (沖縄県市町村自治会館)
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	北陸新幹線鉄道沿線からの騒音が生活環境に及ぼす影響 曝露-反応関係による検討	日本建築学会北陸支部大会 H30.7 (金沢工大)
小松宏昭【調査研究部】、浦西克維【大阪大】、山本勝彦【(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所】、菅田誠治【国立研究開発法人国立環境研究所】	神奈川県における化学輸送モデルを用いたPM2.5の発生源寄与解析(3)～冬季解析結果～	第 59 回大気環境学会年会 H30.9 (九州大)
武田麻由子、小松宏昭、石割隼人【調査研究部】、福岡有希子、志村徹【横浜市環境科学研究所】、白砂裕一郎、安部拓海【横浜市環境管理課監視センター】、鈴木義浩、田中佑典、高垣勇介【川崎市環境総合研究所】(神奈川県公)	神奈川県におけるレボグルコサン濃度の実態把握と PMF 法による発生源解析結果	

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
害防止推進協議会 PM2.5 等対策検討 部会)		第59回大気環境学会年会 H30.9 (九州大)
<b>石割隼人、朝倉純、武田麻由子、小松 宏昭【調査研究部】</b> 、十河孝夫【温泉地 学研究所】	神奈川県におけるPM2.5に含ま れる GC-MS 分析で定量可能な 有機炭素成分の寄与割合	
山本勝彦、奥村智憲、西村理恵【(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所】、浦 西克維【大阪大】、 <b>小松宏昭【調査研究 部】</b> 、清水 厚、菅田誠治【国立研究開 発法人国立環境研究所】	化学輸送モデルとライダー観測 データを用いた大阪上空のエア ロゾルとその主要成分の鉛直分 布について	
<b>小松宏昭【調査研究部】</b>	自治体によるモデルの利用につ いて	
梅津貴史【山形県環境科学研究セン ター】、吉田勤【札幌市衛生研究所】、北 見康子【茨城県霞ヶ浦環境科学セン ター】、飯島史周【栃木県保健環境セン ター】、梅田真希【群馬県衛生環境研究 所】、長谷川就一【埼玉県環境科学国際 センター】、堀本泰秀【千葉県環境研究 センター】、 <b>武田麻由子【調査研究部】</b> 、 木戸瑞佳【富山県環境研究センター】、 牧野雅英【石川県保健環境センター】、 山神真紀子【名古屋市環境科学調査セ ンター】、寺本佳宏【三重県保健環境研 究所】、森 育子【(地独)大阪府立環境 農林水産総合研究所】、中坪良平【兵庫 県環境研究センター】、高林 愛【奈良 県景観・環境総合センター】、金津雅紀 【島根県保健環境科学研究所】、力 寿 雄【福岡県保健環境研究所】、岡田真由 【北九州市保健環境研究所】、松本弘子 【福岡市保健環境研究所】、菅田誠治 【国立研究開発法人国立環境研究所】 *	2017年5月におけるPM2.5高 濃度事例の解析①	
森 育子【(地独)大阪府立環境農林水産 総合研究所】、梅津貴史【山形県環境科 学研究センター】、木戸瑞佳【富山県環 境研究センター】、牧野雅英【石川県保 健環境センター】、石川千晶【仙台市衛 生研究所】、北見康子【茨城県霞ヶ浦環 境科学センター】、飯島史周【栃木県保 健環境センター】、梅田真希【群馬県衛 生環境研究所】、長谷川就一【埼玉県環 境科学国際センター】、堀本泰秀【千葉 県環境研究センター】、 <b>武田麻由子【調 査研究部】</b> 、中込和徳【長野県環境保全 研究所】、西山亨【三重県桑名地域防災 総合事務所環境室】、中坪良平【兵庫 県環境研究センター】、高林 愛【奈良 県景観・環境総合センター】、久恒邦裕【名 古屋市環境科学調査センター】、金津雅	2017年5月におけるPM2.5高 濃度事例の解析②	

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
紀【島根県保健環境科学研究所】、山村由貴【福岡県保健環境研究所】、山口新一【北九州市保健環境研究所】、菅田誠治【国立研究開発法人国立環境研究所】*		第59回大気環境学会年会 H30.9 (九州大)
平澤幸代【京都府保健環境研究所】、浅川大地【大阪市環境科学研究センター】、池盛文数【名古屋市環境科学調査センター】、阿部敦子【札幌市衛生研究所】、熊谷貴美代【群馬県衛生環境研究所】、 <b>武田麻由子</b> 【調査研究部】、田和佑修【(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所】、阪井裕貴【奈良県景観・環境総合センター】、吉田天平【和歌山県環境衛生研究センター】、中川修平【福岡県保健環境研究所】、菅田誠治【国立研究開発法人国立環境研究所】*	PM2.5 中の有機指標物質測定法の精度管理調査	
熊谷貴美代【群馬県衛生環境研究所】、西村理恵【(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所】、梅津貴史【山形県環境科学研究センター】、阿部敦子【札幌市衛生研究所】、 <b>武田麻由子</b> 【調査研究部】、西山亨【三重県保健環境研究所】、平澤幸代【京都府保健環境研究所】、阪井裕貴【奈良県景観・環境総合センター】、吉田天平【和歌山県環境衛生研究センター】、池盛文数【名古屋市環境科学調査センター】、浅川大地【大阪市環境科学研究センター】、中川修平【福岡県保健環境研究所】、菅田誠治【国立研究開発法人国立環境研究所】*	PM2.5 中のレボグルコサン濃度分布とバイオマス燃焼の影響評価ー東日本	
西村理恵【(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所】、熊谷貴美代【群馬県衛生環境研究所】、池盛文数【名古屋市環境科学調査センター】、梅津貴史【山形県環境科学研究センター】、阿部敦子【札幌市衛生研究所】、 <b>武田麻由子</b> 【調査研究部】、寺本佳宏【三重県保健環境研究所】、平澤幸代【京都府保健環境研究所】、阪井裕貴【奈良県景観・環境総合センター】、吉田天平【和歌山県環境衛生研究センター】、浅川大地【大阪市環境科学研究センター】、中川修平【福岡県保健環境研究所】、菅田誠治【国立研究開発法人国立環境研究所】*	PM2.5 中のレボグルコサン濃度分布とバイオマス燃焼の影響評価ー西日本	
豊永悟史【熊本県保健環境科学研究所】、中坪良平【兵庫県環境研究センター】、池盛文数、山神真紀子【名古屋市環境科学調査センター】、 <b>武田麻由子</b> 【調査研究部】、土肥正敬【長崎県北振興局保健部】、鈴木晃功【山形県企業	PositiveMatrix Factorization モデルによる PM2.5 発生源解析の文献調査	

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
局最上電気水道事務所】、菅田誠治【国立研究開発法人国立環境研究所】*		第59回大気環境学会年会 H30.9 (九州大)
高垣勇介【川崎市環境総合研究所】、小松宏昭、武田麻由子、石割隼人【調査研究部】、福崎有希子、志村徹、小森陽昇、小宇佐友香【横浜市環境科学研究所】、白砂裕一郎【横浜市環境管理課監視センター】、小澤宏樹【横浜市資源循環局】、田中佑典、鈴木義浩【川崎市環境総合研究所】、平山学【川崎市環境局】(神奈川県公害防止推進協議会 PM2.5 等対策検討部会)*	神奈川県内におけるPM2.5の成分分析結果について(2014～2016年度)	
十河孝夫【温泉地学研究所】、秀平敦子【大気水質課】、代田寧【調査研究部】	機器分析を利用した高濃度火山ガス中の有害成分の分析法	
横島潤紀【環境情報部】、森長誠【防衛施設協会】、矢野隆【熊本大】	環境騒音に対する苦情行動の因果分析—構造方程式モデリングの適用—	日本音響学会秋季研究発表会 H30.9 (大分大)
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本 泰尚【埼玉大】	北陸新幹線沿線での新幹線鉄道騒音に対する住民反応 —開通後1年の社会調査から—	
代田寧【調査研究部】、大場武【東海大】、谷口無我【気象研究所】、十河孝夫、原田昌武【温泉地学研究所】	箱根山における群発地震を伴わない噴気組成の変化	日本火山学会秋季大会 H30.9 (秋田大)
横島潤紀【環境情報部】、森長誠【防衛施設協会】、矢野隆【熊本大】	既存の社会調査における騒音暴露量推計手法の整理	日本騒音制御工学会秋季研究発表会 H30.10 (神奈川大)
矢野 隆【熊本大】、村上泰浩【崇城大】、横島潤紀【環境情報部】	社会調査と騒音予測—文献調査と社会調査実施例—	
坂本慎一【東大生研】、馬 佳駿【東大院】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	さいたま市内における交通騒音の曝露量再推計の試み	
森長 誠【防衛施設協会】、横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、川井敬二【熊本大院】、矢野 隆【熊本大】	交通騒音のアノイアンスに関する暴露 —反応関係のばらつき～社会調査データアーカイブ【SASDA】利用による検討～	
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	北陸新幹線沿線における振動暴露量と社会反応	
池貝隆宏、三島聡子【調査研究部】	相模湾沿岸に漂着するマイクロプラスチック	第45回環境保全・公害防止研究発表会 H30.11 (島根県民会館)
森原崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	北陸新幹線鉄道沿線の居住環境に対する騒音と振動の影響に関する検討	日本音響学会騒音振動研究会 H30.11 (福島大)
横島潤紀【環境情報部】、森原崇【石川高専】、富田隆太【日大】、松本泰尚【埼玉大】	鉄道騒音に対するアノイアンスに振動が及ぼす影響	音響学会騒音振動研究会 H31.2(近畿大)
三島聡子【調査研究部】	相模湾漂着マイクロプラスチックに吸着した有機フッ素化合物の実態	第53回日本水環境学会年会 H31.3 (山梨大)

(3) 人材育成

県・市町村環境担当職員研修等を行った。

事業名又は項目	概要
ア 大気水質等担当職員研修	<p>県及び市町村の職員を対象に、研修を行った。</p> <p>①環境保全関係法令研修            主要な環境保全関係法令の基礎知識、許認可の事務手続き等に関する18講座の研修を4日間（H30.5.11(金)、14(月)、17(木)、18(金)）行った<sup>※1</sup>。受講者延べ170人</p> <p>②技術研修            騒音及び臭気測定法の実習、アスベストの観察実習、水質の簡易分析法に関する14講座の研修を4日間（H30.10.17(水)、23(火)、24(水)、H30.11.9(金)）で行った<sup>※2</sup>。受講者延べ73人</p> <p>※1 県立国際言語文化アカデミアで実施            ※2 環境科学センター、県立相模三川公園パークセンターで実施</p>
イ 廃棄物対策担当職員研修	<p>県及び廃棄物処理法政令4市の職員を対象に、研修を行った。</p> <p>①環境保全関係法令研修            廃棄物関係法令の基礎知識、許認可の事務手続き、行政検査の方法等に関する14講座の研修を3日間（H30.5.15(火)、22(火)、25(金)）行った<sup>※1</sup>。受講者延べ92人</p> <p>②技術研修            行政検査における固体採取実習に関する講座をH30.10.29(月)で行った<sup>※2</sup>。受講者9人</p> <p>※1 県立国際言語文化アカデミア、かながわ環境整備センターで実施            ※2 大和市環境整備センターで実施</p>
ウ 環境行政新任リーダー研修	<p>県のリーダー級職員を対象に、環境行政の主要政策と課題等に関する研修を1日間（H30.4.18(水)）行った<sup>※</sup>。受講者20人</p> <p>※ 県庁新庁舎議会第4会議室</p>
エ 中堅環境系技術職員スキルアップ研修	<p>県の中堅技術職員を対象に、最前線の環境問題に関する講座等を1日間（H31.1.16(水)）行った<sup>※</sup>。受講者13人</p> <p>※ 県立国際言語文化アカデミアで実施</p>
オ 県・市町村環境学習研修	<p>県及び市町村の環境学習担当職員を対象に、環境教育や環境学習の実践等に関する研修をH30.5.31(木)に行った。受講者20人</p>
カ 県市町村環境業務担当職員研修	<p>市町村の環境業務担当職員を対象に、水質調査委託業務管理に役立てるため分析操作及び分析値の精度管理手法を習得する2講座の研修をH30.7.3(火)に行った。受講者10人</p>
キ 研修派遣	<p>環境省環境調査研修所主催研修に職員を派遣した。</p> <p>課題分析研修Ⅱ（底生動物）            H30.4.9(月)～13(金) 長谷部勇太            ダイオキシン類環境モニタリング研修（基礎課程）            H30.6.25(月)～7.13(金) 中山駿一            H31.1.21(月)～2.8(金) 小澤憲司            VOCs分析研修（水質）            H30.7.23(月)～8.3(金) 石割隼人            アスベスト分析研修            H30.10.1(月)～5(金) 菊池宏海</p>

(4) 依頼に基づく職員の派遣

市町村、団体等から要請のあった出前講座等への講師派遣、及び審議会等への委員派遣を行った。

事業	概要
ア 講師派遣	国、大学等の研修会、講習会への講師派遣を行った。8回 (表3.1.1-3)
イ 出前講座	学校、市民団体等の出前講座への講師派遣を行った。24回 受講者数 1397人 (表3.1.1-4)
ウ 審議会、委員会等への派遣	<p>市町村の審議会、国の委員会、県の各種協議会等への委員派遣を行った。</p> <p>&lt;派遣先&gt;</p> <p>①市町村の審議会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木市環境審議会</li> <li>・平塚市環境審議会</li> <li>・鎌倉市環境審議会</li> <li>・鎌倉市生活環境整備審議会</li> <li>・寒川町環境審議会</li> <li>・二宮町環境審議会</li> <li>・ごみ中間処理施設整備検討委員会 (厚木愛甲環境施設組合)</li> </ul> <p>②国の設置した委員会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境リスク評価委員会曝露評価分科会 (国立研究開発法人国立環境研究所)</li> <li>・化学物質環境実態調査分析法開発等検討会議系統別部会 (第二部会) ((一財)日本環境衛生センター【環境省委託】)</li> <li>・化学物質環境実態調査LC/MSノンターゲット分析法・スクリーニング分析法検討会 ((一財)日本環境衛生センター【環境省委託】)</li> <li>・新幹線鉄道騒音の評価に関する検討委員会 ((株)ニューズ環境設計【環境省委託】)</li> <li>・将来の車外騒音検討委員会 ((公社)自動車技術会共同研究センター【環境省委託】)</li> <li>・嗅覚検査委員会 ((公社)におい・かおり環境協会【環境省委託】)</li> <li>・臭気測定認定事業所審査委員会 ((公社)におい・かおり環境協会【環境省委託】)</li> <li>・JIS Z 8731 改正原案作成委員会 ((一社)日本音響学会)</li> <li>・航空機騒音測定・評価方法検討委員会 ((公社)日本騒音制御工学会【環境省委託】)</li> <li>・WHO 欧州地域事務局欧州地域向けの環境騒音ガイドラインに関する調査検討業務に係る検討委員会 ((公社)日本騒音制御工学会)</li> <li>・産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法改正検討委員会 ((一社)廃棄物資源循環学会【環境省委託】)</li> <li>・産業廃棄物検定方法告示改正に係るワーキンググループ ((一社)廃棄物資源循環学会)</li> <li>・大気環境学会年会実行委員会 ((公社)大気環境学会)</li> </ul> <p>③県の協議会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源環境保全・再生かながわ県民会議 (環境農政局水源環境保全課)</li> <li>・科学技術政策推進会議 (政策局総合政策課)</li> <li>・丹沢大山自然再生委員会 (環境農政局自然環境保全センター)</li> <li>・丹沢大山保全対策推進会議 (環境農政局自然環境保全課)</li> <li>・箱根山火山防災協議会幹事会 (くらし安全防災局災害対策課)</li> <li>・大涌谷周辺安全対策検討部会 (くらし安全防災局災害対策課)</li> </ul>

事業	概要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県青少年科学体験活動推進協議会（福祉子どもみらい局青少年センター）</li> <li>神奈川県生活科学研究ネットワーク連絡会（くらし安全防災局消費生活課）</li> </ul>

表 3.1.1-3 講師派遣

所属	講師	演題等	派遣先（主催機関）	実施日
調査研究部	池貝隆宏	MPに係るもの(学部教育科目「都市科学A」における講義)	横浜国立大学	H30.6.29(金)
調査研究部	池貝隆宏	公共用水域の精度管理	公益社団法人日本分析化学会関東支部	H30.7.30(月)
調査研究部	長谷部勇太	水源環境保全・再生かながわ県民会議 県民参加型ワークショップに係る検討調整会議	水源保全課	H30.7.30(月)
調査研究部	池貝隆宏	第9回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉	第9回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉実行委員会	H30.12.1(土)
環境情報部	横島潤紀	神奈川県内における騒音・振動に係る苦情について	公益社団法人神奈川県環境保全協議会	H30.12.13(木)
環境科学センター	小林幸文	環境問題の最前線	一般社団法人神奈川県環境計量協議会	H31.1.15(火)
環境情報部	横島潤紀	事業所の騒音対策等について	寒川町環境保全協議会	H31.1.29(火)
調査研究部	難波あゆみ	相模湾沿岸に漂着するマイクロプラスチックについて	公益財団法人かながわ海岸美化財団	H31.3.2(土)

表 3.1.1-4 出前講座

所属	講師	講座名	依頼元	実施日	参加者数
環境情報部 調査研究部	齋藤和久 長谷部勇太	水生生物の採集方法	地球っ子ひろば	H30.4.7(土)	4人
環境情報部	坂本広美	環境問題を考えるということ	湘南白百合学園中等・高等学校	H30.4.24(火)	184人
環境情報部 調査研究部	田澤 慧 池貝隆宏 武田麻由子	夏休み自由研究アドバイス	湘南白百合学園中等・高等学校	H30.5.16(水)	174人
環境情報部	田澤 慧	持続可能な社会を考える	独立行政法人国立印刷局 小田原工場	H30.6.12(火)	90人
環境情報部	田澤 慧	持続可能な社会を考える	明治地区生活環境協議会	H30.6.27(水)	25人
調査研究部	池貝隆宏	マイクロプラスチック問題の現状と課題	慶応義塾大学	H30.7.6(金)	10人
環境情報部	齋藤和久	用水路で生きものさがし	フィールドスタッフクラブ 子どもクラブ心の翼 自然観察ものづくり教室	H30.7.7(土)	10人

所属	講師	講座名	依頼元	実施日	参加者数
環境情報部 調査研究部	五十嵐恵美子 池貝隆宏 難波あゆみ	マイクロプラスチック 問題の現状と課題	慶応義塾大学	H30.7.13(金)	10人
環境情報部 調査研究部	斎藤和久 飯田信行 長谷部勇太	川の生き物観察会	平塚市立土屋公民館	H30.7.24(火)	18人
環境情報部	田澤 慧	持続可能な社会を考 える	県立瀬谷養護学校	H30.7.27(金)	60人
環境情報部 調査研究部	斎藤和久 長谷部勇太	中津川夏休み生き物観 察会	NPO 法人神奈川県環境学 習リーダー会	H30.8.8(水)	38人
環境情報部 調査研究部	斎藤和久 飯田信行 長谷部勇太	中津川夏休み生き物観 察会	NPO 法人神奈川県環境学 習リーダー会	H30.8.16(木)	56人
環境情報部 調査研究部	斎藤和久 朝倉純 菊池宏海	目久尻川の水質調査体 験	綾瀬市環境保全課	H30.8.24(金)	10人
環境情報部	斎藤和久	川の生き物観察会	ずしし環境会議まちなみ と緑の創造部会	H30.9.9(日)	44人
調査研究部	池貝隆宏	JST 中高生科学研究実 践活動推進プログラム に係る実験指導	県立多摩高校	H30.9.20(木)	5人
環境情報部	斎藤和久	田んぼや用水路の生き 物観察会	豊田の里を守る会	H30.9.22(土)	32人
調査研究部	池貝隆宏	マイクロプラスチック 問題の現状と課題	神奈川倉庫協会	H30.11.6(火)	32人
調査研究部	武田麻由子	NO <sub>2</sub> や疑似酸性雨の pH 測定などの実験実習	県立向の岡工業高等学校 定時制・総合学科	H30.12.5(水)	9人
環境情報部	坂本広美 田澤 慧	かながわの環境と環境 科学センターの紹介	県立平塚中等教育学校	H31.1.16(水)	160人
調査研究部	小松宏昭	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )について	県立平塚中等教育学校	H31.1.23(水)	160人
調査研究部	池貝隆宏	マイクロプラスチック 問題の現状と課題	湘南台地区生活環境協議 会	H31.1.23(水)	22人
調査研究部	池貝隆宏	マイクロプラスチック 問題の現状と課題	茅ヶ崎地区相模川をきれ いにする協議会	H31.2.5(火)	30人
調査研究部	池貝隆宏	相模湾に漂着するマイ クロプラスチック	平塚地区環境対策協議会	H31.2.13(水)	54人
調査研究部	池貝隆宏 難波あゆみ	マイクロプラスチック ってなんだろう	県立平塚中等教育学校	H31.3.6(水) H31.3.13(水)	160人

(5) 広報及び普及啓発

当センターの事業に関する広報等を行った。

事業名又は項目	概 要
ア 記者発表	<p>行事案内 1 件及び募集案内 2 件の記者発表を行った。</p> <p>&lt;発表事項&gt;</p> <p>①河川のモニタリング調査の県民調査員を募集します (H30. 4. 17 (火))</p> <p>②「第42回環境研究合同発表会」を開催します ー身近な環境問題や環境技術をテーマに研究成果を発表ー (H30. 5. 22(火))</p> <p>③環境学習リーダー養成講座 2018 のご案内 未来の地球・子供たちのために私たちができること (H30. 8. 10(金))</p>
イ 施設公開等	<p>①環境科学センター施設公開 H30. 8. 9(木) 見学者 191 人</p> <p>②子ども科学探検隊 (県青少年科学体験活動推進協議会) H30. 8. 21(火) 参加者 10 人</p> <p>③施設見学 (随時) 見学者 495 人 (8 回)</p>
ウ イベント参加	<p>①かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア2018 (県試験研究機関等紹介コーナー) H30. 7. 14 (土) (主催 県 (総合政策課)、開催場所 新都市ホールホワイエ)</p> <p>②第10回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム (ISAP2018) H30. 7. 18 (水) ~19 (木) (主催 公益財団法人 地球環境戦略研究機関)</p> <p>③ひらつか環境フェア2018 H30. 7. 18 (水) ~22 (日) (主催 ひらつか環境フェア実行委員会)</p> <p>④「かながわプラごみゼロ宣言」 in鎌倉 H30. 11. 2 (金) (主催 県、鎌倉市)</p> <p>⑤Think Eco ひらつか2018 H30. 11. 10 (土) (主催 横浜ゴム株式会社平塚製造所)</p> <p>⑥かいせい環境防災フェア2018 H30. 11. 24 (土) (主催 かいせい環境防災フェア実行委員会)</p> <p>⑦ひらつか環境パネル展 H31. 3. 5 (火) ~12日 (火) (主催 ひらつか環境ファンクラブ)</p>
エ 年報の発行	<p>「平成30年版(2018)年報 第50号」をH30. 11に発行し、当センターwebサイトに掲載した。</p>
オ インターンシップ学生の受入れ	<p>県が実施しているインターンシップ (学生実習生受け入れ制度) により H30. 8. 6(月)~10(金)の 5 日間、大学生 2 人を受け入れた。</p>
カ 職場体験の受入れ	<p>各中学校で実施している職場体験学習に協力し、8 名 (3 校) を受け入れた。</p>

(6) 他機関との連携

県内及び全国の地方公共団体環境研究機関と交流・連携し、調査研究に関する技術の向上を図った。

事業名又は項目	概要
ア 神奈川県市環境研究機関協議会	<p>当センターと横浜市環境科学研究所及び川崎市環境総合研究所で構成する「神奈川県市環境研究機関協議会」において、情報交換や研究成果の合同発表会、研修会を開催した。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>①定例会            第1回 H30.5.24(木) 川崎市環境総合研究所研修室            第2回 H31.1.25(金) 川崎市環境総合研究所研修室</p> <p>②第42回環境研究合同発表会(再掲)            H30.6.20(水) 横浜市技能文化会館 参加者140人</p> <p>③研修会            H31.2.12(火) カルッツかわさき大会議室 参加者44人            講演「変化に備えよ：気候変動への適応と地方の役割」            国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応センター副センター長 行木美弥 氏</p>
イ 全国環境研協議会	<p>全国環境研協議会(地方自治体の設置する環境保全及び公害防止施策に係る試験研究機関で組織)に参画し、機関相互の運営に関わる連絡、情報交換、共同調査研究等を行った。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>①第47回総会            H31.1.21(月) (公財)都道府県センター都道府県会館402会議室</p> <p>②研究・発表会等の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立環境研究所とのⅡ型共同研究(10課題中3課題に参画)</li> <li>「植物の環境ストレス影響評価とモニタリングに関する研究」</li> <li>「光化学オキシダントおよびPM2.5汚染の地域的・気象的要因の解明」</li> <li>「LC-MS/MSによる分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」</li> </ul> <p>③環境省の施策及び予算に対する要望書の提出</p> <p>④酸性雨全国調査への参画</p> <p>⑤全国環境研協議会会長賞(再掲)            H31.1.21(月) (公財)都道府県センター都道府県会館402会議室            受賞者 池貝隆宏【調査研究部】</p>

事業名又は項目	概 要
イ 全国環境研協議会（続）	<p>また、関東甲信静エリアの16都県市の地方公共団体環境研究所で構成する関東甲信静支部において情報交換等を行った。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>①支部総会 H30.10.22(月) ホテルポートプラザちば</p> <p>②専門部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気専門部会 H30.11.22(木) 横浜市技能文化会館視聴覚研修室801 演題発表「神奈川県におけるPM2.5に含まれる有機化合物の構造決定」(石割隼人【調査研究部】)</li> <li>・水質専門部会 H30.10.26(金) 横浜市開港記念会館2階9号室 演題発表「金目川におけるネオニコチノイド系農薬等の変動」(中山駿一【調査研究部】)</li> <li>・水質専門部会東京湾連絡会 H30.11.2(金) 横浜市水道局西谷浄水場(小澤憲司【調査研究部】)</li> <li>・騒音振動専門部会 H30.7.12(木) 千葉県環境研究センター 新館2階研修室 演題発表「環境騒音に対する苦情行動の分析」(横島潤紀【環境情報部】)</li> </ul> <p>③環境測定分析統一精度管理ブロック会議 H31.3.6(水) 長野市生涯学習センター第1及び2学習室(坂本広美【環境情報部】)</p> <p>④全国環境研協議会関東甲信静支部長表彰(再掲) H30.10.22(月) ホテルポートプラザちば 受賞者 小松宏昭【調査研究部】</p>
ウ 神奈川県公害防止推進協議会	<p>横浜市、川崎市及び神奈川県で構成する神奈川県公害防止推進協議会の浮遊粒子状物質対策検討部会において、県内の微小粒子状物質の実態と発生源を把握するため、共同で試料採取及び分析、解析を行っている。H30年度は、予測が困難であるが地域由来の汚染による高濃度の発生が見込まれる秋冬期に連続試料採取を行い、バイオマス燃料由来のレボグルコサンや自動車排ガス由来のホパン類について検討した。</p>
エ 関東地方大気環境対策推進連絡会	<p>関東甲信静地方の1都9県7市で構成する関東地方大気環境対策推進連絡会において、微小粒子状物質の広域的な汚染実態と発生源を把握するため、H29年度の季節別の構成成分の把握や高濃度日を対象とした解析を行った。</p>

### 3. 1. 2 環境学習業務

環境学習講座の開催、環境学習施設の県民利用、環境学習情報の発信等に関する業務を行った。

#### (1) 環境学習講座の開催

環境問題や環境保全活動に関心のある県民向けに環境学習リーダー養成講座、環境活動講座及びスキルアップ講座を開催した。

事業名又は項目	概要		
ア 環境学習リーダー養成講座	<p>地域で環境学習活動を行う人材（環境学習リーダー）の育成を目的として、意欲のある県民を対象に、環境問題の基礎知識や活動手法等に関する講座を開催した。</p> <p>&lt;実績&gt; 受講者 45 人 修了者 17 人（科目の 8 割以上を受講した者）</p>		
	開催日	講座のテーマ	講師
	H30. 10. 13(土)	環境科学センターの取組と神奈川の環境	環境科学センター 環境活動推進課長 坂本広美
		気候変動と私たちに求められること～個人として、社会の一員として	特定非営利活動法人 環境文明 21 共同代表 藤村コノエ
	10. 20(土)	生物多様性の保全と私たちの生活のつながりを考える	(公財)地球環境戦略研究機関 研究員 松本郁子
		食品リサイクル ～売れ残り食品の行方～	(株)二見 代表取締役社長 須長勇太
	10. 27(土)	《施設見学》 寒川浄水場 及び (公財)神奈川県下水道公社 相模川流域下水道左岸処理場	神奈川県企業庁寒川浄水場 職員  (公財)神奈川県下水道公社 柳島水再生センター職員
	11. 10(土)	相模湾岸に漂着するマイクロプラスチック  小学生向け環境体験教室環境地球儀を作ろう	環境科学センター 調査研究部長 池貝隆宏  特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会上田恵一及びリーダー会の皆様
11. 17(土)	身の回りの環境ホルモン  市民運動について	特定非営利活動法人 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 代表理事 中下裕子 (一社)ソーシャルコーディネーターかながわ 代表理事 手塚明美	

事業名又は項目	概 要																							
イ 環境活動講座	<p>環境保全活動に関心を持つ県民を対象に、活動を実践するうえで役立つ知識や技術に関する講座を開催した。</p> <p>&lt;実績&gt; 受講者総数 91人  第1回11人 第2回18人 第3回16人 第4回5人 第5回21人 第6回20人</p> <table border="1" data-bbox="480 387 1445 1559"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 387 676 425">開催日</th> <th data-bbox="676 387 1059 425">講座のテーマ (会場)</th> <th data-bbox="1059 387 1445 425">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 425 676 622">第1回 H30. 5. 25 (金)</td> <td data-bbox="676 425 1059 622">野外環境学習の実践法～野外で子どもを対象に行う環境学習の手法を体験的に学ぶ～(おおいゆめの里及び大井町農業体験施設四季の里)</td> <td data-bbox="1059 425 1445 622">大井町教育委員会 おおい自然園 園長 一寸木 肇</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 622 676 853">第2回 6. 30 (土)</td> <td data-bbox="676 622 1059 853">田んぼの生きものウォッチング～田んぼと水生生物との関係について学ぶ～(環境科学センター及び小出川周辺)</td> <td data-bbox="1059 622 1445 853">自然保護団体「三翠会」・ネイチャーアーティスト 森上 義孝 自然保護団体「三翠会」 平岩 宏司 環境科学センター 職員 齋藤 和久</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 853 676 1084">第3回 7. 20 (金)</td> <td data-bbox="676 853 1059 1084">再生可能エネルギーの活用事例と神奈川の植物について～省エネ対策と私たちを取り巻く自然環境の現状について学ぶ～(株鈴廣蒲鉾本店及び県立生命の星・地球博物館)</td> <td data-bbox="1059 853 1445 1084">(株鈴廣蒲鉾本店) 施設技術課長 廣石 仁志 生命の星・地球博物館 情報資料課長 田中 徳久</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1084 676 1240">第4回 9. 15 (土)</td> <td data-bbox="676 1084 1059 1240">子どもと親への環境教室実践法～市民活動団体「地球っ子ひろば」に学ぶ～(環境科学センター)</td> <td data-bbox="1059 1084 1445 1240">市民活動団体 「地球っ子ひろば」 代表 齋藤美代子</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1240 676 1397">第5回 11. 30 (金)</td> <td data-bbox="676 1240 1059 1397">ガソリンスタンドにおける環境への取り組み～TATSUNO 横浜工場の見学～(株タツノ横浜工場)</td> <td data-bbox="1059 1240 1445 1397">株式会社タツノ営業本部長付 広報担当主幹 関谷 勝彦 環境科学センター主任研究員 武田 麻由子</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1397 676 1559">第6回 H31. 2. 13 (水)</td> <td data-bbox="676 1397 1059 1559">教員になったとき役立つ環境実験講座～汚れた水をきれいにしよう～(関東学院大学金沢八景キャンパス)</td> <td data-bbox="1059 1397 1445 1559">特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 浜辺 謙吉</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	講座のテーマ (会場)	講師	第1回 H30. 5. 25 (金)	野外環境学習の実践法～野外で子どもを対象に行う環境学習の手法を体験的に学ぶ～(おおいゆめの里及び大井町農業体験施設四季の里)	大井町教育委員会 おおい自然園 園長 一寸木 肇	第2回 6. 30 (土)	田んぼの生きものウォッチング～田んぼと水生生物との関係について学ぶ～(環境科学センター及び小出川周辺)	自然保護団体「三翠会」・ネイチャーアーティスト 森上 義孝 自然保護団体「三翠会」 平岩 宏司 環境科学センター 職員 齋藤 和久	第3回 7. 20 (金)	再生可能エネルギーの活用事例と神奈川の植物について～省エネ対策と私たちを取り巻く自然環境の現状について学ぶ～(株鈴廣蒲鉾本店及び県立生命の星・地球博物館)	(株鈴廣蒲鉾本店) 施設技術課長 廣石 仁志 生命の星・地球博物館 情報資料課長 田中 徳久	第4回 9. 15 (土)	子どもと親への環境教室実践法～市民活動団体「地球っ子ひろば」に学ぶ～(環境科学センター)	市民活動団体 「地球っ子ひろば」 代表 齋藤美代子	第5回 11. 30 (金)	ガソリンスタンドにおける環境への取り組み～TATSUNO 横浜工場の見学～(株タツノ横浜工場)	株式会社タツノ営業本部長付 広報担当主幹 関谷 勝彦 環境科学センター主任研究員 武田 麻由子	第6回 H31. 2. 13 (水)	教員になったとき役立つ環境実験講座～汚れた水をきれいにしよう～(関東学院大学金沢八景キャンパス)	特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 浜辺 謙吉
開催日	講座のテーマ (会場)	講師																						
第1回 H30. 5. 25 (金)	野外環境学習の実践法～野外で子どもを対象に行う環境学習の手法を体験的に学ぶ～(おおいゆめの里及び大井町農業体験施設四季の里)	大井町教育委員会 おおい自然園 園長 一寸木 肇																						
第2回 6. 30 (土)	田んぼの生きものウォッチング～田んぼと水生生物との関係について学ぶ～(環境科学センター及び小出川周辺)	自然保護団体「三翠会」・ネイチャーアーティスト 森上 義孝 自然保護団体「三翠会」 平岩 宏司 環境科学センター 職員 齋藤 和久																						
第3回 7. 20 (金)	再生可能エネルギーの活用事例と神奈川の植物について～省エネ対策と私たちを取り巻く自然環境の現状について学ぶ～(株鈴廣蒲鉾本店及び県立生命の星・地球博物館)	(株鈴廣蒲鉾本店) 施設技術課長 廣石 仁志 生命の星・地球博物館 情報資料課長 田中 徳久																						
第4回 9. 15 (土)	子どもと親への環境教室実践法～市民活動団体「地球っ子ひろば」に学ぶ～(環境科学センター)	市民活動団体 「地球っ子ひろば」 代表 齋藤美代子																						
第5回 11. 30 (金)	ガソリンスタンドにおける環境への取り組み～TATSUNO 横浜工場の見学～(株タツノ横浜工場)	株式会社タツノ営業本部長付 広報担当主幹 関谷 勝彦 環境科学センター主任研究員 武田 麻由子																						
第6回 H31. 2. 13 (水)	教員になったとき役立つ環境実験講座～汚れた水をきれいにしよう～(関東学院大学金沢八景キャンパス)	特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 浜辺 謙吉																						
ウ スキルアップ講座	<p>環境学習リーダーのスキルアップを目的に開催した。</p> <p>&lt;実績&gt;  第1回 受講者40人 第2回 受講者37人</p> <table border="1" data-bbox="480 1718 1445 1955"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 1718 676 1756">開催日</th> <th data-bbox="676 1718 1059 1756">講座のテーマ</th> <th data-bbox="1059 1718 1445 1756">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 1756 676 1874">第1回 H30. 7. 12 (木)</td> <td data-bbox="676 1756 1059 1874">大転換時代に対処する基本的なスタンス～パリ協定・SDGs等への的確な対応～</td> <td data-bbox="1059 1756 1445 1874">(一財)持続性推進機構 理事長 東京大学名誉教授 安井 至</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1874 676 1955">第2回 12. 13 (木)</td> <td data-bbox="676 1874 1059 1955">気候変動の影響と適応～どう伝える?実践編～</td> <td data-bbox="1059 1874 1445 1955">(公財)地球環境戦略研究機関 研究員 迫口貞充、武田智子</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	講座のテーマ	講師	第1回 H30. 7. 12 (木)	大転換時代に対処する基本的なスタンス～パリ協定・SDGs等への的確な対応～	(一財)持続性推進機構 理事長 東京大学名誉教授 安井 至	第2回 12. 13 (木)	気候変動の影響と適応～どう伝える?実践編～	(公財)地球環境戦略研究機関 研究員 迫口貞充、武田智子												
開催日	講座のテーマ	講師																						
第1回 H30. 7. 12 (木)	大転換時代に対処する基本的なスタンス～パリ協定・SDGs等への的確な対応～	(一財)持続性推進機構 理事長 東京大学名誉教授 安井 至																						
第2回 12. 13 (木)	気候変動の影響と適応～どう伝える?実践編～	(公財)地球環境戦略研究機関 研究員 迫口貞充、武田智子																						

## (2) NPO と連携した環境学習事業の実施

かながわサイエンスサマー事業として、当センターの環境学習講座の修了者が中心となって活動している（特非）神奈川県環境学習リーダー会と共催で、小学生を対象に夏休み子ども環境体験教室をリーダー会会員を講師として開催した。参加総数 319 人

開催日	内 容	参加者数
H30. 7. 30(月)	人工の雲をつくろう	44 人
7. 30(月)	つかめる水を作ろう	43 人
7. 31(火)	身近な物で電池を作ろう	29 人
7. 31(火)	森の木エクラフトで森を考えよう	18 人
8. 1(水)	汚れた水をきれいにしよう	44 人
8. 1(水)	手づくり顕微鏡で生き物を観察しよう	32 人
8. 2(木)	見えない空気について実験で調べよう	9 人
8. 2(木)	発泡スチロールでオリジナル表札作り	30 人
8. 3(金)	環境地球儀を作ろう	34 人
8. 3(金)	太陽の光で回るソーラー風車を作ろう	36 人

## (3) 環境学習施設利用者支援

環境学習施設及び環境学習用資機材の貸出を行った。

事業名又は項目	概 要															
ア 環境学習施設の貸出	<p>環境学習施設 4 施設を貸出するとともに、実験指導などの利用者の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>主な貸出先等</th> <th>施設利用数*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境学習室</td> <td>環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）</td> <td>1,208 人（51 件） 【634 人（25 件）】</td> </tr> <tr> <td>実習室</td> <td>環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）</td> <td>1,379 人（58 件） 【600 人（23 件）】</td> </tr> <tr> <td>環境資料室</td> <td>県民</td> <td>192 人（2 件）</td> </tr> <tr> <td>環境活動室</td> <td>環境保全団体</td> <td>200 人（29 件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※【 】内は、当センター主催講座における件数で内数</p>	施設名称	主な貸出先等	施設利用数*	環境学習室	環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）	1,208 人（51 件） 【634 人（25 件）】	実習室	環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）	1,379 人（58 件） 【600 人（23 件）】	環境資料室	県民	192 人（2 件）	環境活動室	環境保全団体	200 人（29 件）
施設名称	主な貸出先等	施設利用数*														
環境学習室	環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）	1,208 人（51 件） 【634 人（25 件）】														
実習室	環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）	1,379 人（58 件） 【600 人（23 件）】														
環境資料室	県民	192 人（2 件）														
環境活動室	環境保全団体	200 人（29 件）														
イ 環境学習用資機材の貸出	<p>環境学習用のビデオ・DVD、環境測定用機器、観察機器等の貸出を行った。 実績 延べ36台（26件）</p>															

## (4) 環境学習情報の提供

環境学習のためのホームページを運用し、環境学習に関する情報を発信した。

事業名又は項目	概 要
ア 地球環境学習ひろば	<p>環境学習講座開催情報、施設利用案内、教材ダウンロード、環境活動人材情報検索等の情報を提供した。アクセス数 23,043 件 URL <a href="http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/index.html">http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/index.html</a></p>